

2017  
January

## 学生だより

vol.40

発行人/武井 典子 発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会  
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19 TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <http://www.jdha.or.jp/>

共に歩もう、学びを糧に



関西女子短期大学



福岡歯科衛生専門学校



三河歯科衛生専門学校



神奈川県立歯科大学短期大学部 歯科衛生学科



M e s s a g e

## 歯科衛生士を一生の仕事に！

公益社団法人 日本歯科衛生士会  
副会長 上田 和美

乳幼児から高齢者まで、各ライフステージにおいて食育や疾病に関わる生活習慣病など、予防への取り組みがさらに進んでいくなかで、歯科衛生士には全身の健康管理を含め、国民の歯と口腔の健康を守る使命があります。社会からの期待に応え、やりがいと成長を感じながら役割を果たしていくためには、常に学び続け専門性を高めていく必要があります。「世の中で一番楽しく立派なことは、一生を貫く仕事を持つということです」という言葉があります。歯科衛生士の基礎を育む学生時代に全力で学び、歯科衛生士を一生の仕事としていただきたいと思います。日本歯科衛生士会は、未来に向かうエネルギーに溢れた皆さまを待っています。



福島県立総合衛生学院 歯科衛生学科

P6・7に各校の学校紹介、学校自慢を掲載しています。

# 活躍する歯科衛生士

## 私にとっての歯科衛生士

FILE  
02

おやまだ たかこ  
小山田 貴子さん  
(北海道歯科衛生士会)  
医療法人溪仁会 定山溪病院



### 仕事内容

現在、私は北海道札幌市の医療法人溪仁会定山溪病院で歯科衛生士として勤務しています。専門学校を卒業後は一般の歯科医院に勤務していましたが、「歯科以外の多職種と関わりを持ちたい!」そのような思いから病院歯科に勤務しました。

病院には、高齢の方や障がいを持った方が多く入院されており、歯科にはその入院患者様や地域住民の方々も受診されています。主に診療室では、歯科保健指導や歯科診療補助、病棟では週に1度の入院患者様への口腔ケアを行い、数年前からは訪問診療も始まりました。



北海道歯科衛生士会の活動

### やりがい・魅力・将来の夢

今、私が歯科衛生士として長い間続けられてきた中で、いろいろな場面で多くの方々と関わっていけることに歯科衛生士としての大きな魅力を感じています。

病院歯科と言っても歯科衛生士としての業務は一般の歯科医院と変わりはないと思います。ただ私が関わりたい「多職種」との連携ということが大きな違いであり、重要な部分であると感じています。

勤務し始めた頃は、今のように口腔ケアの重要性については一般的にも周知さ



“おとめさん”と健口体操



れていませんでした。そのことを病院全体のスタッフに理解してもらうこと、それと同時に歯科衛生士の必要性も理解してもらいたいと考え、まずは、直接病棟に出向き、口腔ケアが本当に入院患者様にとって重要だということ、そして歯科衛生士の必要性や存在もアピールしました。続けていく中で入院患者様に対する「口腔ケアや口腔内のトラブルはまず、歯科衛生士に相談しよう」ということが、病院全体に広まっていき徐々に確立されていきました。これは、やはり看護師やリハビリスタッフと直接関わったことで、私達歯科衛生士が患者様のためにどのようなことが一緒にできるのか、ということが理解され、受け入れられたということだと思っています。

もちろん入院患者様だけではなく、地域の方々も同様です。最初の受診の時は小学生だった女の子が、出産に向けて定期健診に来たり、長年関わってきた男性が認知症になり通院できなくなり訪問診療に伺うことになったりと、歯科衛生士が口腔を通してその方のライフステージに寄り添い、一緒に歩み、関わり続けていくことができるということはとてもすばらしいことだと日々感じています。

今後はこのような経験をもとに、在宅や施設に退院されていく患者様の口腔にも、ずっと関わっていきたくと考えています。



平成27年日本歯科衛生学会(北海道)は大成功



今年度広島での学会に参加して

### 学生さんへのメッセージ

今、歯科衛生士の社会的ニーズは以前にも増して強まり、期待されていると言われています。皆さんが卒業し歯科衛生士として活躍する頃には、間違いなくその様になってくると思います。その活躍する歯科衛生士になる前に、皆さんには大切にしていきたいものがあります。それは今一緒に学んでいる「仲間」です。今は当たり前と一緒にいる仲間ですが卒業すると離れてしまいます。楽しいという気持ち、辛いという気持ち、たくさんのいろいろな気持ちを共有し、大切に積み重ねていってください。将来、必ず社会人として、歯科衛生士として「仲間がいて良かったな」と、助けられる時が来ると思います。

そしてこの一緒に学んだ仲間を中心に、初めての職場での仲間、その外にはもっと大きな歯科衛生士の仲間の世界もあります。たくさんの仲間をどんどん増やしていってください。

皆さんがたくさんの仲間とつながっていくことを、そしてキラキラと輝くすてきな歯科衛生士になることを、切に願っています。

### PROFILE

#### プロフィール

1990年3月  
札幌歯科学院専門学校 卒業  
一般歯科医院 勤務  
1994年7月  
医療法人溪仁会 定山溪病院 勤務  
現在に至る  
2009年4月～  
北海道歯科衛生士会 副会長  
2015年6月～  
日本歯科衛生士会 理事

# Let's Challenge 歯科衛生研究にチャレンジしましょう!

皆さんは授業や実習の中で、ふと疑問に思ったことや、さらに学びたいと思ったことなどはありませんか？ 研究を行うことで、自分自身の知識や経験が整理されるとともに歯科口腔保健全般の事柄や状況が把握できます。また、新たな興味や疑問もわいてくると思います。

学会発表の方法は、口演、ポスター等があります。日本歯科衛生学会では、学生会員または卒業1年未満の本会会員を対象とした、「学生研究賞」があります。今回は、今年「学生研究賞」を受賞された阿部智美さんの研究を紹介します。皆さんもぜひ歯科衛生研究にチャレンジしてみましょう！

## 「学生研究賞」を受賞して

東京医科歯科大学大学院 口腔疾患予防学分野 阿部 智美

私は日本歯科衛生学会第11回学術大会学術表彰式において、「飼料形態の違いが脳の発達へ与える影響」という研究で「学生研究賞」をいただきました。この研究は東京医科歯科大学在学中に卒業研究として取り組んだものです。研究テーマを考えていた当時、子どもがよく噛めると頭が良くなり、高齢者が噛んで食事を摂ることができると認知症になりにくいと聞いたことがきっかけで、「脳」と「噛むこと」の関連に興味を持ちました。そこで、硬い食べ物と柔らかい食べ物を噛むことの違いが脳の成長や形態に与える影響を調べることを目的として、ラットを用いた基礎研究を行うことにしました。



### ◆ 研究について

ラットを2群に分け、A群には固形飼料、B群には粉末にした飼料を与えて64日間飼育しました。飼育を始めた頃は、活発に動き回るラットに触ることさえまなず、週1回の体重測定・餌の補充・飼育箱の清掃の際にも時間がかかりました。しかし、ラットが徐々に成長していく様子を見ていくうちに、愛着を覚えていきました。



飼育終了後には60cm×80cm、道幅約7cmの迷路を段ボールで作製し、学習行動観察のために迷路実験を行いました。その後脳標本や乾燥頭蓋標本を作製し、観察・測定を行いました。それまで飼育してきたラットを標本にすることは認識していたものの、実際に行う際はとても心が痛みました。このような基礎研究を行えたのも環境が整っていたため、貴重な経験をすることができて本当に良かったです。

### ◆ 研究結果抜粋

以下に、研究の結果の一部を紹介します。

迷路による行動観察の結果、A群の方が餌まで有意に早く



たどり着くことができ、餌のない壁に当たった間違え回数も有意に少ないという結果を得ました。組織標本の断面観察において脳の前部では、運動皮質に相当する部

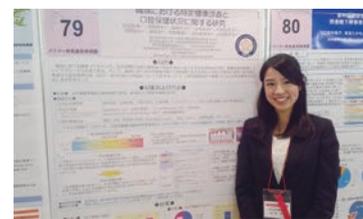
分の分子層はA群の方が有意に厚いという結果が出ました。

これらの結果より、食べ物の硬さが成長や行動の発達、脳の内部構造の発達に影響しており、硬い食べ物を噛むことが脳の発達に良い影響があることが示唆されました。特に、脳の発育が盛んな時期に「噛む」行動が学習行動にも重要な意味を持っており、歯科衛生士による健康教育や歯科保健指導への応用が必要だと考えられました。

### ◆ 研究を終えて

これが私にとって初めての研究でしたので、計画・分析・論文へのまとめ方など分からないことばかりでした。しかし、担当の先生の丁寧なご指導により論文を完成させることができました。振り返ると大変なことばかりでしたが、大きな達成感を得ることができました。さらに、この研究に取り組むことにより研究とはどのようなものなのか学ぶことができ、現在の私の研究のベースになったといえます。

研究を行うことは思い通りにいかないことも多々ありますが、その分、やりがいを感じることができます。今後一人でも多くの学生さんが、色々なことに興味を持って研究に取り組み外部へ発信することで、これからの歯科衛生士の活動発展につながると思います。



### ◆ 今後について

現在は東京医科歯科大学大学院にて、高齢者を対象とした介入研究を行っています。卒業研究とは視点を変え、歯科衛生士の活動に直接結びつくテーマを設定し、取り組んでいます。将来、多くの方がより健康に生活できるようサポートする歯科衛生士として社会で活躍できるように、これからもさまざまな経験を通し自分自身を磨いていきたいと思います。



兵庫歯科学院専門学校 2年

おばま ゆい  
小濱 唯さん

甲南大学卒業後、歯科助手として勤務

私は大学卒業後、歯科医院で歯科助手として1年間勤務していました。歯科助手として、さまざまな治療を見ていく中で、もっと幅広い知識をもち、患者さんに関わりたく強く思うようになり歯科衛生士を目指す道を選択しました。



入学してからは、授業や実習など初めてのことばかりでついていくことに精一杯でした。2年生になると臨床実習や専門分野の試験も多くなり、何度も投げ出したくなる時もあります。そのような時はいつも



頑張ろうと励まし合い、助け合って良い刺激をくれる大切なクラスメイトがいます。また親身になって学生のためにサポートしてくださる先生方もいて恵まれた環境で学校生活が送れることに感謝しています。

授業は、歯科医師や歯科衛生士の方から直接お話を聞き、歯科衛生士の役割の大切さや幅広い活躍を学ぶことができたくさん興味が湧き、卒業後が楽しみになります。

歯科衛生士免許取得がゴールではなく常に学び続ける姿勢を大切に、いろいろなことにチャレンジしていきたいです。そのためには、この先の臨床実習で知識や技術をさらに深め、国家試験を頑張ってみんなで乗り越えたいです。そして患者さんに心から「ありがとう」と言ってもらえるような歯科衛生士になりたいです。

私が歯科衛生士になろうと決めたのは、短期大学の在学中でした。そこで私は[歯科助手]という講義を聴き、歯科の分野に興味を持ちました。姉が歯科助手として働いているため、姉に相談すると、国家資格である「歯科衛生士」という職業を勧められました。患者さんと身近に接することができるという点に魅力を感じ、歯科衛生士になることを決めました。

専門学校1年生の時は初めて耳にする言葉がたくさんあり、勉強についていくのがとても大変でした。期末テストも範囲が広い



のため、覚えることが多く、不安と戦う日々もありました。しかし、少しずつできることが増えてくると達成感を味わうことがで

きました。2年生の後期からは臨床実習が始まり、毎日が大変でしたが、クラス全員で助け合い、約1年間の実習を終えることができました。臨床実習では、学校で勉強したことをより深く学び大変なこともありましたが、とても充実した日々を送ることができました。今はクラス全員で国家試験に向けて勉強を頑張っています。私は、歯並びが悪く歯列矯正をしています。将来は、矯正治療を行っている歯科医院に就職したいと考えています。矯正の専門知識は不足していることが多くあるので、勉強を続けていきたいです。そして、患者さんの気持ちに寄り添い、信頼される歯科衛生士を目指します。



長野医療衛生専門学校 3年

たじま ちえ  
田嶋 千恵さん

高崎商科大学短期大学部 卒業



学生  
輝け 未来  
歯科衛生士

ご紹介する4名の学生さんは、歯科衛生士という職業の大切さ、またその大切さを感じとって、友達と励まし合って、かけがえのないもの、心から応援



埼玉県立大学保健医療福祉学部  
健康開発学科口腔保健科学専攻 4年  
おう さ と も か  
黄木 智夏さん

群馬県立桐生女子高等学校 卒業



高校生になり、将来は女性として自立して働くために資格を取得できればと考えていた時に、祖母が病気により経口摂取できずに弱っていく姿を目にしました。そして、口から食べることの幸せ、口の健康の大切さを改めて感じました。資格のある職業を調べていくと、歯科衛生士は口から身体の健康へアプローチできることを知り、歯科衛生士を目指しました。

1年次にはスペイン語や法学などの主に教養科目を履修し、視野が広がりました。2、3年次では専門科目が中心となり、難しさもありましたが、今後臨床で生かせることを想像すると期待に胸が膨らみました。3年生後半からの臨床実習では、授業で学んだことが現場につながる嬉しさを感じました。実習中、知識や技術の未熟さから思うようにいかない時は、仲間と協力して励まし合い、乗り越えることができました。

私の学校は、保健医療福祉分野の5学科5専攻による「連携と統合」を教育理念としていて、他職種との連携と協働ができる力を養うための授業や実習があり、この大学ならではの学びができた実感しています。今後は、保健医療福祉のさまざまな場で歯科衛生士が多職種と活躍する機会が増えると思います。大学で学んだことを生かし、チーム医療の一員として口腔領域から健康を推進できる歯科衛生士になることが目標です。



紹介

# 未来の 衛生士

授業、実習をとおし、歯科衛生士としての卒業後も学び続けること、楽しんでいる毎日が、充実している毎日、と実感しています。

私が歯科衛生士になろうと思ったきっかけは、歯科衛生士を目指していた高校の時の友人からの誘いでした。私は将来、医療に携わる仕事に就きたいと考えていましたが、明確に決まっておらず進学先に悩んでいました。そのときに友人が「一緒に歯科衛生士のオープンキャンパスに行かない？」と誘ってくれました。オープンキャンパスでは咀嚼や口腔内について学んだり、体験学習もしました。また、明るく元気で声を掛けてくださった先輩や先生と学生が楽しそうな雰囲気をみて歯科衛生士に興味を持ち、歯科衛生士の学校に入学しようと決めました。

入学してからは、初めて学ぶ専門的な勉強ばかりでついていくことに必死で、周りにもついていけない不安もありました。



覚えなければならぬことも多く、大変な日々でしたが、今は少しずつ学校生活にも慣れてきて、新しいことを学ぶことや実習がとても楽しいです。

学校行事で

は「大学祭」や2年の時には「関女技能オリンピック」があり充実した学生生活を送っています。3年生からは臨床実習が始まり、大変だと思ふことがあるかもしれませんが、みんなと一緒に協力し励ましあいながら乗り越えていきたいです。将来は、知識や技術をみがくことはもちろん、患者さんに優しく親身になり、信頼されるように「また、あなたがいいわ」といってもらえる歯科衛生士を目指したいです。そのために、学生のうちにしっかり勉強をして知識や技術を身につけたいと思います。



関西女子短期大学歯科衛生学科 2年  
まさ の ゆ か  
牧野 友香さん

大阪府立河南高等学校 卒業



# 三河歯科衛生専門学校

〒444-0005  
愛知県岡崎市岡町原山 12-130

2017年春

創立20周年を迎えます！

三河歯科衛生専門学校は今年創立20周年を迎えます。経験と実績を積み重ねた手厚い指導により、およそ800名の卒業生を歯科医療の現場へ送り出しています。



小学校実習



口腔ケア実習



幼稚園実習



クラスは少人数制で同じ目標に向かってるので、結束力がある♪わからないところを教え合ったりしています！



♡先生は..♡

★充実した授業内容！ 普段は優しく、時には厳しく・・・メリハリがあって良い！  
講師陣のバックアップが頼もしい！♪



★他校にはない

★食育実習が自慢です！

学生の声・・・食育インストラクターの資格も取れるから魅力的！  
食べることが大好きだから楽しい！（笑）



# 神奈川歯科大学短期大学部 歯科衛生学科

〒238-8580 神奈川県横須賀市福岡町 82 番地



相互実習



戴帽式



小学校実習



附属病院実習



マネキン実習

神奈川歯科大学短期大学部は、わが国の短期大学で初めて歯科衛生士の養成を始めました。  
自ら考え問題を解決する姿勢と行動力を持ち、歯科保健・医療を通じて人々が健康で快適な生活を営むよう健康の実現に向かってサポートし、社会のニーズに応える専門的知識や技術を身につけ、生涯にわたり自己研鑽し、人々に信頼され自立する人材の養成を目指しています。



講義風景



研修旅行



大学祭



一般社団法人福岡県歯科医師会立  
福岡歯科衛生専門学校

〒810-0041

福岡市中央区大名1丁目12-43 ☎092-751-5827



歯を守る集い



保育園実習



食育



体育大会



TBI実習



本校は、福岡市の都心・天神に隣接する文教・交通に適した場所に、一般社団法人福岡県歯科医師会が歯科衛生士養成機関として開校しました。昭和44年開校以来毎年優秀な歯科衛生士を地域社会に送り出しており、歯科医学・保健衛生等高度な専門学理や技術の習得、そして幅広い教養と知識を培い、高い倫理を身につけた人間形成を目指した教育を続けております。



戴帽式



研修旅行



卒業式

ホームページ

PC : [http:// www.fcdh.ac.jp/](http://www.fcdh.ac.jp/)

携帯 : <http://www.fcdh.ac.jp/sp/>



## 福島県立総合衛生学院 歯科衛生学科

〒960-8141

福島市渡利字中角 61

Tel 024-521-1683 Fax 024-521-8660

Email : [sougouiseigakuin@pref.fukushima.jp](mailto:sougouiseigakuin@pref.fukushima.jp)

福島県立総合衛生学院は、歯科衛生学科、助産学科、看護学科、臨床検査学科の4学科の養成を通じて、福島県の保健・医療・福祉の充実を目指しております。1962年より福島県立歯科衛生士養成所として歯科衛生士の養成が始まり、その後1971年に福島県立総合衛生学院として統合された歴史ある学校です。

高校生対象の臨地実習



ペリオスクリーンやRDテストを用いて、継続的な口腔ケア援助中！真剣です。

文化祭は、歯みがき教室や演芸会。演芸会では歯周病予防の内容を組み入れた「赤ずきんちゃん」を演じました。準備勝でした♪♪

おさらぎ祭



1年生歓迎会



歯周予防処置Ⅱの授業



マネキンに一生懸命話しかけています。

2, 3年生合同でディズニーや日本口腔衛生学会と盛りだくさんの研修でした。

研修旅行





JAPAN DENTAL  
HYGIENISTS' ASSOCIATION

入会の申し込みは…

# 簡単 4Step!

## Step 1

ホームページから簡単申し込み!  
入会申し込みフォームに入力します

※ホームページを閲覧できない方は  
各都道府県歯科衛生士会  
もしくは日本歯科衛生士会まで  
ご連絡ください  
(☎0120-802039)



## Step 2

都道府県歯科衛生士会から  
必要な書類が送付されます



## Step 3

入会金・  
会費を  
支払います



## Step 4

入会完了



### 会 費

年会費は、いつ入会しても、4月1日から翌年3月31日までの1年間で前納制になっています。  
学生会員からの入会は日本歯科衛生士会入会金が免除となります。

入会金 2,000円 年会費 7,000円

\*都道府県歯科衛生士会ごとの会費が加わります。金額については各事務局にお問い合わせください。



### お便りお待ちしております

楽しい紙面作りのために、皆さまのご意見や、学生生活  
の中でのさまざまな情報をお寄せください。

〒169-0072

東京都新宿区大久保2-11-19 日本歯科衛生士会「学生だより」編集係

TEL:03-3209-8020 FAX:03-3209-8023

<http://www.jdha.or.jp/>